

JHeC2020 最終審査会 報道関係者様の募集を開始しました！

ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト（JHeC）2020 最終審査会において、報道関係者様向けのご来場募集を開始いたしました。

JHeC は経済産業省主催のヘルスケア分野での課題解決に資するベンチャー起業等が登壇するピッチコンテストになります。来年開催の JHeC2020 は 5 回目の開催となり、まさに 5 回目という節目に相応しいファイナリストの方々にご登壇いただけます。

ご多用とは存じますが、是非ご取材いただきたく、ご案内させていただきます。お手数ではありますが、ご参加いただける方は、下記ご確認くださいお申込をお願いいたします。

1. 概要

開催日：2020 年 1 月 23 日（木）

開催場所：日本橋室町三井タワー3 階 室町三井ホール&カンファレンス

（東京都中央区日本橋室町三丁目 2 番 1 号）

アクセス：<http://www.mitsui mice.jp/nihonbashi/muromachi/access/>

プログラム：別紙の通り

2. ファイナリスト

別紙に記載の通り、アイデア部門 4 名、ビジネス部門 5 社による発表を予定しております。

3. 参加申込み

下記要領にて、メールにてお申込みください。

申し込み専用メールアドレス：jhec2020-info@hotscape.co.jp

メール件名：JHeC2020 報道関係者申込み

メール内容：（下記の項目を本文にてご記載ください）

企業／組織名：

媒体名：

ご所属：

お名前：

ご同伴者人数：

ムービー/スチール：ムービー（ハンディー・ENG）／スチール（ 台）

個別取材のご希望（選択されない方を削除ください）：有（グランプリ受賞者・ファイナリスト）・無

ご連絡先メールアドレス：

募集締切りは、2020 年 1 月 22 日（水）18:00 になります。

※ 応募数によってはご来場いただく人数を調整させていただく場合がございます。お含みおき下さい。

4. その他

当日は、着用していただくネームカードホルダー用と受付用に、お名刺を 2 枚お持ちください。受付にてカードホルダーをお渡しします。会場への入場のための ID として参加者全員にご着用いただきます。

<お問い合わせ先>

ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト 2020 参加登録事務局

(JHeC2020 参加登録事務局)

株式会社ホットスケープ

E-mail : jhec2020-info@hotscape.co.jp

JHeC2020 最終審査会 プログラムと登壇者について

1. プログラム (予定)

13:00～13:15	オープニング
13:15～14:05	【アイデアコンテスト部門】 ファイナリスト プレゼンテーション
休憩 (10min)	
14:15～15:45	【ビジネスコンテスト部門】 ファイナリスト プレゼンテーション
休憩 (10min)	
15:55～16:10	昨年度グランプリ受賞者経過報告【株式会社カケハシ】
16:10～17:00	過去グランプリ受賞者によるパネルディスカッション ■登壇者 (予定) 1. トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社 代表取締役 中西敦士氏 2. 株式会社 mediVR 代表取締役社長 原正彦氏 3. 株式会社カケハシ 代表取締役 CEO 中尾豊氏 他モデレーター1名
17:00～17:30	グランプリ発表・表彰式
18:00～	懇親会

※スケジュールは変更になる可能性があります。

2. ファイナリスト

アイデアコンテスト部門	
1	湯野川恵氏 『塩分管理をラクにする食品検索・食事管理アプリケーション「さがそと」』
2	大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科医師 三隅祐輔氏 『身体にやさしい心臓病治療を可能にする新規デバイス「MAV」』
3	カitek株式会社 代表取締役 武藤高史氏 『介護ワークシェアリングアプリ「カイスケ」』
4	Hakara (開業予定) 歯科医師 清水章矢氏 『駅ナカや商業施設に、予約も保険証も不要で10分1000円から利用できる、治療をしない予防歯科Hakara』

ビジネスコンテスト部門

1	エーテラボ株式会社 代表取締役CEO 長坂剛氏 『ピアサポート型習慣化アプリ「みんなチャレ」を活用した2型糖尿病の治療継続』
2	CI Inc. 代表取締役 園田正樹氏 『病児保育プラットフォーム「あずかるこちゃん」』
3	株式会社リハートテック 取締役 笠原直樹氏 『和歌山発、誤嚥の予防のために開発した器具「タン練くん」の製造販売。全国のお年寄りを助けたい。』
4	株式会社ジョリーグッド 執行役員 CCO 丸山安曇氏 『360度実写VRにより経験の浅い指導者でも高いレベルのトレーニングが可能に！ 発達障害の方々に「社会に参加する力をつける」ソーシャルスキルトレーニングプログラム「emou（エモウ）」』
5	アトピヨ 代表 RyotaroAko氏 『日本初の“アトピー見える化アプリ”アトピヨ』

※順不同。当日の発表順は変更になる可能性があります。

以上